

# 競 技 上 の 注 意

1. 競技開始 第1日 10時00分 第2日 9時30分 第3日 10時30分

## 2. 競技規則・方法

- (1) 本大会は、2017年度日本陸上競技連盟規則により行う。
- (2) 学校対校とする。得点は1位 6点・2位 5点・以下……6位 1点とする。

## 3. 選手招集について

- (1) 選手の招集所は、北側メインスタンド裏(100mスタート横)に設置する。
- (2) 招集完了時刻は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

### 【トラック競技:予選】

種 目	男 子			女 子		
	組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了
100m	1 - 5	35 分前	20 分前	1 - 3	35 分前	20 分前
	6 - 9	20 分前	5 分前	4 - 6	20 分前	5 分前
200m	1 - 4	35 分前	20 分前	1 - 4	35 分前	20 分前
	5 - 7	20 分前	5 分前			
400m	1 - 4	35 分前	20 分前	1 - 3	35 分前	20 分前
	5 - 7	20 分前	5 分前			
800m	1 - 4	35 分前	20 分前	1 - 3	35 分前	20 分前
	5 - 7	25 分前	10 分前	4 - 5	20 分前	5 分前
1500m	1 - 2	35 分前	20 分前	1 - 2	35 分前	20 分前
	3 - 4	15 分前	0 分前			
5000m タイムレース	1組目	35 分前	20 分前			
	2組目	10 分前	5 分前			
4×100mR	1 - 2	35 分前	20 分前	1 - 2	35 分前	20 分前
	3 - 4	25 分前	10 分前			
4×400mR	1 - 2	35 分前	20 分前	1 - 2	35 分前	20 分前
	3 - 4	15 分前	0 分前			
オープン 100m	1 - 8	35 分前	20 分前	1 - 5	35 分前	20 分前
	9 - 16	20 分前	5 分前			
オープン 5000m	1・2組目	35 分前	20 分前			

上記に記載のない種目については、招集時間は競技開始35分前から始めて招集終了時刻は20分前とする。

### 【トラック競技:準決勝・決勝】

トラック競技準決勝・決勝の招集開始は、すべて競技開始35分前から始めて招集完了時刻は20分前とする。  
ただし、男子5000m決勝タイムレースについては、上記トラック予選一覧表のとおりとする。

### 【フィールド競技:決勝】

フィールド競技決勝の招集開始は、すべて競技開始60分前から始めて招集完了時刻は45分前とする。  
ただし、男女棒高跳・男女砲丸投・男女円盤投・男女ハンマー投・男女やり投は、  
競技開始75分前から始めて招集完了時刻は60分前とする。

### 【ハードル競技:準決勝・決勝】

ハードル競技の招集開始時刻については、直前に行われる競技の競技開始時刻と同じとし、  
最終点呼については現地で行うこととする。

## (3) 招集の手順

- ア) 競技者は、招集開始時刻に招集所で待機し、最終確認を受けること。  
その際、ナンバーカード、競技用靴、衣類、持ち物等の点検を受けること。  
トラック競技の出場者はその際、腰ナンバーカードを受け取り右腰やや後方につけること。
- イ) 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目同時に兼ねて出場する選手はあらかじめ、  
その旨を最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。
- ウ) 招集時刻に遅れたものは、棄権するものとして処理する。

エ) リレーのオーダー用紙は、競技者係より受け取り、予選・準決勝・決勝とも提出すること。  
 (提出はその種目1組目の招集完了60分前までに行うこと)  
 なお、招集時間内に必ず招集も受けること。  
 リレーの選手変更は2017年日本陸上競技連盟規則による。

オ) 混成競技は、第1日目・第2日目とも最初の種目を(2)に準じて招集を受けること。  
 2番目以降の種目の招集はトラック20分前、フィールド35分前にトレーニング室で  
 点呼確認を受けたあと、誘導に従う。  
 最終点呼は現地で行う。

### 3. 跳躍・投てき競技について

(1) バーの上げ方については下記のとおりとする。ただし、天候等により変更することがある。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男・走高跳	1.70	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	以降3cmとする
	1.50								
女・走高跳	1.40	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	以降3cmとする
	1.20								
男・棒高跳	3.30	2.70	2.80	2.90	3.00	3.10	3.20	3.30	以降10cmとする
	2.60								
女・棒高跳	2.60	2.00	2.10	2.20	2.30	2.40	2.50	2.60	以降10cmとする
	1.90								

※練習は2段階の高さで実施する。

※順位決定のバーの上げ下げは走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

### 4. その他

- (1) トラック競技のベスト8、プラス出場者の決定については、タイムの上位者から選出する。  
 同タイムが出た場合は写真を拡大し「着差あり」まで判定する。  
 それでも判定できない場合は同着とし、本人または代理人により抽選する。
- (2) ナンバーカードは胸背部に必ず着用すること。  
 ただし、走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳においては、胸背部いずれかでよい。
- (3) 使用する全天候用スパイクシューズのピンの長さは9mm以下とする。  
 ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。
- (4) 棒高跳出場選手は、ポールを持参すること。
- (5) 用器具の検査時間は、各種目とも招集開始60分前より始めて30分前で締切る。
- (6) 本競技場での練習時間は、トラック・フィールドとも下記のとおりとする。  
 第1日 9時00分まで      第2日 8時30分まで      第3日 9時30分まで
- (7) 各種目3位まで表彰する。
- (8) 本大会は全九州高等学校新人陸上競技大会予選(沖縄)を兼ねる。  
 上位3名、3チームが出場できる。ただし、混成競技は上位2名とする。
- (9) 全九州新人大会出場権を獲得した学校は、各校責任のもと申込用紙を指定の期日までに提出すること。

補助競技場が改修工事で使用できないため、  
 周回競技が行われていない時は、バックストレートでの練習を認める(ただし、競技役員の指示に従うこと)。  
 また、ハードル競技の前には若干の練習時間を設定する。